



いちごぐみだより

令和7年3月25日

社会福祉法人まほろば 湊こども園

3月に入り暖かな日差しが心も身体も大きく成長した子ども達の笑顔を包んでくれているようです。初めての園生活に泣いたり、進級に不安で落ち着いて過ごすことができなかった子ども達ですが、自分のペースで少しずつこども園に慣れることができました。

いちご組での成長は著しく『自分でできる』ことがたくさん増えました。保育者に見守られ援助してもらいながら靴や衣類の着脱を頑張る・嫌がらずにオマルに座り排尿しようとする・一人ずつ並んで順番に手を洗う・苦手な物も食べてみようという気持ちも生まれ、みんなで一緒にスプーンを使って楽しく食べる、さらにお昼寝も安心してぐっすりと眠ることができるようになりました。

「〇〇する!」「かして」と伝え、「どうぞ」「ありがとう」と優しい気持ちを表し、保育者や友達と言葉を使いながら関わることで遊びが広がっています。また簡単な約束も理解し「まてまて～」のおにごっこ、「もういいかい?」のかくれんぼ・などルールのある遊びを保育者と楽しむ姿もみられます。またパズルやひも通し・シール貼りなど指先を使う細やかな遊びも集中して楽しんでいます。

この1年は一人ひとりのたくさんの『できる』という成長を側で感じ、泣いたり笑ったりといろいろな表情を見せてくれた子ども達と過ごすことができた幸せな時間でした。大切な可愛いお子さまの成長と一緒に喜び合うことができ本当に嬉しく思います。保護者の皆様には、様々なご協力とご理解をいただきましたことを感謝いたします、ありがとうございました。



いちご組での生活も残りわずかとなりました。一日一日を大切に笑顔溢れる毎日を送りたいと思います。そして、この先も子ども達が心穏やかに大きくなることを願っています。